

(1) 目的

現代科学の発達による社会情勢の変化に伴い、教育面においても、内容、方法その他について、新しい社会の要請に応ずるよう、学習指導の改善が叫ばれている。このような情勢下にあつて、本県児童・生徒の学力向上を図るために、従来の学習指導を反省し、教育研究の手法によって授業の様態を見きわめ、学習指導の現代化を志向して、授業の効果をいっそう高めようとするものである。

(2) 主催 福島県教育委員会

(3) 期間 2日間

(4) 期日・会場

地区	管内	期日	会場
県北	信夫	5月26日～7日	大笹生小学校 桑折釀芳小学校 二本松中学校
	伊達	5月28日～29日	
	安達	6月2日～3日	
県中	郡山	6月16日～17日	郡山第五中学校 鏡石中学校 浅川小学校 三春小学校
	山瀬	5月28日～29日	
	岩石	5月26日～27日	
	川田	6月25日～26日	
	村	6月25日～26日	
県南	西白河	6月23日～24日	白河第二小学校 鮫川小学校
	東白川	6月16日～17日	
会津	南会津	6月16日～17日	田島中学校 謹教小学校 喜多方第一小学校 坂下第二中学校
	北会津	5月28日～29日	
	耶麻	5月26日～27日	
	両沼	6月2日～3日	
浜	いわき	6月25日～26日	小川中学校 檜葉南小学校 向陽中学校
	双葉	6月25日～26日	
	相馬	6月16日～17日	

(5) おもな講習内容

- I 本県における学習指導上の問題点
- II 「現代化」をめざした学習指導改善の方向
  - 1 「現代化」の基本的な考え方
    - 現代化の意義 ◦現代化の視点
  - 2. 学習指導改善の視点
    - 個別化 ◦集団化 ◦治療化
- III 現代化をめざした学習指導改善の方法
  - 1. 基本的な考え方
  - 2. 具体的な方法
    - 指導計画 ◦指導過程 ◦指導形態
    - 指導技術 ◦学習方法 ◦その他
- IV 現代化をめざす学習指導を進めるにあたっての留意点

2 学習指導研究指定校の委嘱

旧管内1校ずつ、16校を指定し、2ヵ年継続で研究を進めるようにした。本年度はその第1年次にあたる。

(1) 目的

本県児童・生徒の学力向上を図るため、小学校および中学校について、学習指導全般の充実によって学力向上の実をあげる研究学校を指定し、その資料を当該校所属管内の各学校に普及し、活用させる。

(2) 指定校の運営

指定校は、前記目的達成を図るために次の事項を基本として運営する。

- ① 過去における学力向上推進校の研究成果をじゅうぶん取り入れ、効果的・能率的な運営を進める。
- ② 学校経営全般にわたって診断を行ない、問題点のは握と改善につとめて、学力向上の効果をあげる。
- ③ 研究成果については、年度末に報告書を作成する。発表会は、第1年次には開催しない。
- ④ 研究計画の立案にあたっては、学校の実情、児童・生徒の実態をよくは握し、具体的な研究主題を設定する。

(3) 研究学校名、校長名ならびに研究主題

- ① 学校名 福島市立大笹生小学校
- ② 校長名 渋谷靖十郎
- ③ 研究主題 「情操教育を基盤とした学習指導法の改善」  
～楽しく、力強い学習指導の実現をめざして～

- ① 学校名 伊達郡桑折町立桑折釀芳小学校
- ② 校長名 五十嵐秀夫
- ③ 研究主題 「児童に学習の喜びを持たせ、思考力を高める指導はどうすればよいか」

- ① 学校名 二本松市立二本松中学校
- ② 校長名 武藤武利
- ③ 研究主題 「生徒の個性・能力に応じた学習指導はどうあるべきか」

- ① 学校名 郡山市立郡山第五中学校
- ② 校長名 国分直治
- ③ 研究主題 「創造的学力を高めるための学習指導法の改善」

- ① 学校名 岩瀬郡鏡石町立鏡石中学校
- ② 校長名 小坂橋大三
- ③ 研究主題 「生徒の主体的学習態度を育てるために授業をどう組織するか」

- ① 学校名 石川郡浅川町立浅川小学校
- ② 校長名 相楽敏春
- ③ 研究主題 「子どもの能力を育てるための学習指導はどうあるべきか」

- ① 学校名 田村郡三春町立三春小学校
- ② 校長名 志賀三郎
- ③ 研究主題 「ひとりひとりの学習効率を高める授業過程の研究」

- ① 学校名 西白河郡泉崎村立泉崎中学校
- ② 校長名 鈴木正
- ③ 研究主題 「授業の質を高める学習指導はいかにあるべきか」

- ① 学校名 東白川郡鮫川村立鮫川小学校
- ② 校長名 渡辺豊
- ③ 研究主題 「原理・法則を発見的に学習し、定着・